

一、平福日能達其の久遠に  
 一、此の事儀は関を建対に議極者を出さる事  
 一、事議貴田在主页担の事

子左の通り要求す

昭和六年五月十四日

犬塚信次  
 大村長太郎  
 石井清吉

讀賣新聞印刷出張所表紙木茂三殿

第百三十四号

昭和六年六月廿八日

警視總監 高橋守雄

内務大臣 安達謙藏殿  
 社會 白 長 官 殿

6.8.1  
 2796

讀賣新聞深川出張所労働争議ニ関スル件

「日本出版」 (第一報リ自然消滅)

要旨：標記無標記所記連文ニ在リ消滅不明、供何等交渉ナク自然消滅ト認メラル

標記無標記所記連文ハ、直報（五月二十日労働第一九九号）ノ如ク要求書呈  
 出、供消滅不明トナリ数日後別添、如キビラシキ読者ニ配布セル  
 外其後何等交渉ナク就労配連文ニ対シ罷業勧誘セルモノ之ニ應ス  
 事、ナク爾來何等ノ行動ナクヨ以テ本件ハ自然消滅ト認メラ